

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ）		
ナンバリングコード	E41204	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 総合レベル ゼミナール
単位数	4	配当学年 / 開講期	4 年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002728	クラス名	三宅ゼミ
担当教員名	三宅 裕介		
履修上の注意、 履修条件	主に卒業論文作成に取り組むと共に、就活中(公務員志望・一般企業)の方のES添削/模擬面接を行う。ゼミを除く卒業単位をほぼ満たしていることが卒論・就活に集中するためには望ましい。公務員試験対策としては専門試験の多くを占める経済関連分野(マクロ・ミクロ経済学・財政学・国際経済学・経済事情)を中心に最短時間で確実に解答可能な手法を身に付ける。卒論に於いてはただ知識を羅列するのでは無く、2021年度のデータから、どのような傾向が読み取れるのかを自身で思考しアウトプット(文書化)するスキルを身に付ける。		
教科書	『図説 日本の財政 令和三年度版』 廣光俊昭 編纂 (2021) 財経詳報社		
参考文献及び指定図書	『マネジメント・テキスト ビジネス・エコノミクス 第2版』伊藤元重 著 (2021) 日本経済新聞出版		
関連科目	マクロ経済学・ミクロ経済学・財政学・公共経済学・経済政策・経済学入門・経済学史・西洋経済史		

○基本情報		
授業の目的	大学生活の学問の集大成である卒業論文(以下卒論)は期限迄の提出が目的ではあるがそれ自身が卒論を各目的では無い。卒論を作成するに当たってデータの取り扱いや分析手法、そしてそれから一体何が読み取れるのかを自分自身の思考力を大いに使ってコツコツと書き出していく。初めから難しいことに取り組むのではなく、自身が興味を抱いている事、疑問に思っている事、分析してみたい事を自ら決定し調査を行う。つまり受け身の学習ではなく能動的なかつ主体的に取り組む力を養っていく。昨年度の日本の経済成長率、完全失業率、経常収支、GDPの内訳(三面等価の支出面、分配面、生産面)に関してそれらの指標の定義と結び付きについて考え、将来予測をし現在日本が持つ課題を導出する。そしてその課題に対し自身であればその解決策としてどのような政策が必要かを創造し文章としてアウトプットしていく。またより論文を分かり易く示すため、エクセルやpython等を使用し表やグラフの作成方法のスキルを身に付ける事が目的である	
授業の概要	公務員試験や就活中の場合は過去問による試験対策やESの書き方、添削、SPIの頻出問題を解くと同時に個人面接や集団面接に必要なディベート力を身に付けるべくグループワークを行う。卒論に関してはまず基礎的なマクロ理論とミクロ理論を復習し全体の経済の流れや政策の種類に於いて学ぶ。そして各自でテーマに沿った分析と執筆を行い毎時間進捗状況を報告する。また、そのプレゼンテーションに対しリスナーの意見や問題提起を行い質疑応答とディスカッションを行う。具体的には現在急激に進行し続けている少子高齢化というテーマを選択した場合、ただ単に出生率が下がっているから、寿命が延びているからという理由だけで留まるのでは無く、何故下がっているのか、何故延びているのか、その現象に伴って経済学的に何にどんな影響を与えるのかを自分自身の頭で試行錯誤しながら考える事が最も重要でありそれを文章化していく。つまりインプット(自身が興味がある情報を入力する)・咀嚼(得た情報を自身の頭で整理し様々な視点から考えてみる)・その	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	担当者は主に公務員・教員・各種資格試験対策予備校に於ける教育経験があり、今後大学を卒業してから必要となる資格、公務員試験であれば国家総合・国家一般・地方上級・地方初級に対応した試験対策を行います。専門試験がある採用試験は経済系の出題が大変多くしかも理論系で計算式で解くとなると自主学習のみでは大変厳しい部門でもあります。従って1から全て経済学を学ぶのではなく過去数十年の出題傾向を分析してその中でも頻出されている理論や計算式をパラシュート方式で学んでいきたいと思っています。また、資格取得の目的のみならず様々な業種に就職されても(銀行・保険・投資信託・証券・商社等)全体の流れを俯瞰しそれらを基に今自分は何をしたら	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	各情報媒体(インターネット・テレビ・新聞)等で日々流れている経済ニュースに関心を持ち、各事象に関して自身の考えを述べる事ができる。また能動的にそれらを調査し言語化する能力がある。		10点	10点
【知識・理解】	専門用語の定義を理解しそれらが時系列的にどのように変化しているのか、その推移が何故起こっているのかを考え理解する能力を身に付ける。		10点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	毎回数人ごとに卒論の進捗状況をプレゼン形式で報告して頂きその分かり易さと惹きつける話し方が出来る。また内容に於いては自身が持つ課題と分析によって何が分かったかが明確である事。		10点	20点
【思考・判断・創造】	情報は幾らでもネット媒体等で取れるがそれを自身で咀嚼し理解した上でプレゼンテーションや文章が自分のものになっているか、自身の言葉で話しているかを問う。		10点	20点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
能動的かつ積極性をあらゆる面から見て評価します。特にただ単に難しいことをしなければならないとか、自分の興味の無い事をやらせると言う受け身の姿勢であれば面白くないと思います。これまで生活してきた中で或いは大学生活を通じ自分自身が不思議に感じた事、面白いと思った事、興味のある事、好きな事をネット等の情報媒体のみならず、今日々生活している中での実体験やルーティンワークの中から見つけ出し、それを経済学的に捉える事により新たな発見を見つける、或いはこれ迄と全く異なった視点から物事を捉えて思考する事の面白さを感じて欲しいと思っています。従って教員側が『卒論を書かせる』のではなく、主体的にコツコツ学ぶことにより社会に出てからも大いに役立つスキルが見に付いているかも評価の中に入れたと思います。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他
卒業論文執筆は大学生活すべてに於ける集大成でもあります。学業の身に関わらず部活動、サークル活動、フィールドワーク、ボランティア活動、アルバイト経験、就職活動(インターンシップ・ES作成・面接)、日常生活等全てに於いて自らが感じた事、考えた事、悩んだ事を全てアウトプットする作業です。ただ単に短期間にインプットした情報や知識をそのまま文章化する作業ではありません。それらを自分自身の経験と知識を総動員して文章に落とし込んでいく過程こそが自分自身を振り返りながら学び、自分自身にしか書くことの出来ないオリジナリティ溢れた論文作成にもなります。従って通常の大規模人数での受動的な講義とは異なり本ゼミナールでは自分自身が学ぶ主役であり主体でもあります。自ら試行して行動に移さなければ何も始まりませんしスプーンフィーディングするつもりもありません。一日数行ずつでもいいので自分自身が感じた事考えたことをコツコツ記入し、日常生活の中で気付いた事や発見した事があればメモする習慣を身に付け全てを自分自身のものにしていくことが大切です。日々生活する中に於いて無駄な事など一つもありません。よく「何も書くことが無い」「何を書いていいか分からない」という質問を受ける事があります。そんな時はほんの些細な事でもいいので日常何気なく行っている事に目を向けてみて下さい。今日は朝ご飯を作るのが面倒だったのでコンビニに行って卵サンドと野菜ジュースを買った。それだけでも充分なのです。このわずか10分足らずの何気ない行動の中にも経済学的行動が溢れています。上述した行動を専門的に言い換えれば、コンビニという生産部門(企業)に対し500円玉一個持って行った。(予算が500円でありその中で自分自身が取れる行動は500円以内の買い物が出る(消費可能)という制約が発生する(予算制約))。そして卵サンドと野菜ジュースという二つの財を購入し消費を行うことにより自身のお腹が満たされた(効用最大化された)と言い換える事が出来ます。更には、朝食を作るという手間と時間をコンビニでお金(貨幣)を使用する事により機会費用を最小化する行動を取ったとも言えます。この様に普段何気ないものも少しだけ知識と視点を変えれば自分自身の行動自体が学問になり得るのです。そんな学問の楽しさと感動を少しでも味わって頂ける一助となる事を心より願っています。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅣ（SeminarⅣ） 三宅 裕介	授業コード	E002728
学修内容				
1. オリエンテーション				
各自の春期休日中にどの様な取り組みを行ったかを報告して貰い、特に就活に就いての話題をプレゼンして貰う。インターンシップやES作成、面接はそれ自身が目的ではなくそれらを通じて少しでも自身のスキルを高め広げる良きチャンスであると捉え、具体的にどのような学びがあったかを中心に話し合う。				
予習	春期休日中にどの様な事を行ったか、それによって何を学んだかを簡単にメモ程度でも良いので整理しておく		2h	
復習	今回のゼミ生の報告を聞いて自身はどう感じたか、何か自身にヒントになる事はなかったかを考えてみる。		2h	
2. 就活に於けるスキルを身に付ける/卒業論文執筆のためのスキルを身に付ける				
各自によって就職希望先は異なる為、公務員試験受験者(国家・地方、警察消防)、一般企業でグループ分けをし、グループごとで問題の解き合いや教え合い、面接のディスカッションの練習を行う。勿論就職活動が最優先であるが、内定取得者でかつ自身の進路が決定したものに於いては卒業論文の執筆にとりかかる。指定テキストと参考文献を参照し疑問に思った点を全てノートに書き出す作業を行う。それをゼミ内で共有して議論を深め一番知りたいと思うテーマを選択して分析を行う。				
予習	各自自身で解けなくて困っている問題を整理しゼミの時間で話題に出すかを準備する。		2h	
復習	この時間内に学んだ問題の解き方やディベートの方法を復習する。		2h	
3. 就活に於けるスキルを身に付ける/卒業論文執筆のためのスキルを身に付ける				
各自によって就職希望先は異なる為、公務員試験受験者(国家・地方、警察消防)、一般企業でグループ分けをし、グループごとで問題の解き合いや教え合い、面接のディスカッションの練習を行う。勿論就職活動が最優先であるが、内定取得者でかつ自身の進路が決定したものに於いては卒業論文の執筆にとりかかる。指定テキストと参考文献を参照し疑問に思った点を全てノートに書き出す作業を行う。それをゼミ内で共有して議論を深め一番知りたいと思うテーマを選択して分析を行う。				
予習	各自自身で解けなくて困っている問題を整理しゼミの時間で話題に出すかを準備する。		2h	
復習	この時間内に学んだ問題の解き方やディベートの方法を復習する。		2h	
4. 就活に於けるスキルを身に付ける/卒業論文執筆のためのスキルを身に付ける				
各自によって就職希望先は異なる為、公務員試験受験者(国家・地方、警察消防)、一般企業でグループ分けをし、グループごとで問題の解き合いや教え合い、面接のディスカッションの練習を行う。勿論就職活動が最優先であるが、内定取得者でかつ自身の進路が決定したものに於いては卒業論文の執筆にとりかかる。指定テキストと参考文献を参照し疑問に思った点を全てノートに書き出す作業を行う。それをゼミ内で共有して議論を深め一番知りたいと思うテーマを選択して分析を行う。				
予習	各自自身で解けなくて困っている問題を整理しゼミの時間で話題に出すかを準備する。		2h	
復習	この時間内に学んだ問題の解き方やディベートの方法を復習する。		2h	
5. 就活に於けるスキルを身に付ける/卒業論文執筆のためのスキルを身に付ける				
各自によって就職希望先は異なる為、公務員試験受験者(国家・地方、警察消防)、一般企業でグループ分けをし、グループごとで問題の解き合いや教え合い、面接のディスカッションの練習を行う。勿論就職活動が最優先であるが、内定取得者でかつ自身の進路が決定したものに於いては卒業論文の執筆にとりかかる。指定テキストと参考文献を参照し疑問に思った点を全てノートに書き出す作業を行う。それをゼミ内で共有して議論を深め一番知りたいと思うテーマを選択して分析を行う。				
予習	各自自身で解けなくて困っている問題を整理しゼミの時間で話題に出すかを準備する。		2h	
復習	この時間内に学んだ問題の解き方やディベートの方法を復習する。		2h	
6. 就活に於けるスキルを身に付ける/卒業論文執筆のためのスキルを身に付ける				
各自によって就職希望先は異なる為、公務員試験受験者(国家・地方、警察消防)、一般企業でグループ分けをし、グループごとで問題の解き合いや教え合い、面接のディスカッションの練習を行う。勿論就職活動が最優先であるが、内定取得者でかつ自身の進路が決定したものに於いては卒業論文の執筆にとりかかる。指定テキストと参考文献を参照し疑問に思った点を全てノートに書き出す作業を行う。それをゼミ内で共有して議論を深め一番知りたいと思うテーマを選択して分析を行う。				
予習	各自自身で解けなくて困っている問題を整理しゼミの時間で話題に出すかを準備する。		2h	
復習	この時間内に学んだ問題の解き方やディベートの方法を復習する。		2h	
7. 就活に於けるスキルを身に付ける/卒業論文執筆のためのスキルを身に付ける				
各自によって就職希望先は異なる為、公務員試験受験者(国家・地方、警察消防)、一般企業でグループ分けをし、グループごとで問題の解き合いや教え合い、面接のディスカッションの練習を行う。勿論就職活動が最優先であるが、内定取得者でかつ自身の進路が決定したものに於いては卒業論文の執筆にとりかかる。指定テキストと参考文献を参照し疑問に思った点を全てノートに書き出す作業を行う。それをゼミ内で共有して議論を深め一番知りたいと思うテーマを選択して分析を行う。				
予習	各自自身で解けなくて困っている問題を整理しゼミの時間で話題に出すかを準備する。		2h	
復習	この時間内に学んだ問題の解き方やディベートの方法を復習する。		2h	
8. 中間時点での振り返り				
半期の試験対策の進捗状況を全体で振り返り、各自の就活の進み具合と現在抱えている悩み、課題点について話を聞く。全体として或いは個別にて相談を受け、今の時点で何が出来るかを考え今から行える作業を導出する。				
予習	半期で何を行って来たか、何を学べたかをメモ程度にて整理しておく。		2h	
復習	自分以外のゼミ生から学んだ事、気付いた点についてレポートにまとめる。		2h	

○授業計画	科目名	ゼミナールⅣ（SeminarⅣ）	授業コード	E002728
	担当教員	三宅 裕介		
学修内容				
9. 本格的な卒業論文執筆				
指定テキスト、参考文献或いは自身で集めたネットからの情報を整理し自身がその中で一番知りたいテーマ、経済事象、課題を決定し分析を行う。文章の書き方についてはその都度指導を行うが基本的には章立てをして(1.序章・2分析手法(実証・理論)・3 2に基づいた自身の政策立案とその妥当性・4まとめ(全体の分析を通じて分かった事・学んだ事)順序良く計画的にコツコツ積み重ねていく。一番重要なのは卒論を提出する事自体が目的ではなく自身で課題を決めそれらを分析し自身の政策を試行錯誤することを通じてどれだけ学べたか・成長できたかを重視する事。				
予習	自身で卒論を分析・執筆するにあたって疑問に思う事悩んでいる事をメモ等に記載しておく。			2h
復習	その日に学んだ事をその日の内にすぐメモあるいは文書校閲を行い、客観的に自身の作品を振り返る。			2h
10. 本格的な卒業論文執筆				
指定テキスト、参考文献或いは自身で集めたネットからの情報を整理し自身がその中で一番知りたいテーマ、経済事象、課題を決定し分析を行う。文章の書き方についてはその都度指導を行うが基本的には章立てをして(1.序章・2分析手法(実証・理論)・3 2に基づいた自身の政策立案とその妥当性・4まとめ(全体の分析を通じて分かった事・学んだ事)順序良く計画的にコツコツ積み重ねていく。一番重要なのは卒論を提出する事自体が目的ではなく自身で課題を決めそれらを分析し自身の政策を試行錯誤することを通じてどれだけ学べたか・成長できたかを重視する事。				
予習	自身で卒論を分析・執筆するにあたって疑問に思う事悩んでいる事をメモ等に記載しておく。			2h
復習	その日に学んだ事をその日の内にすぐメモあるいは文書校閲を行い、客観的に自身の作品を振り返る。			2h
11. 本格的な卒業論文執筆				
指定テキスト、参考文献或いは自身で集めたネットからの情報を整理し自身がその中で一番知りたいテーマ、経済事象、課題を決定し分析を行う。文章の書き方についてはその都度指導を行うが基本的には章立てをして(1.序章・2分析手法(実証・理論)・3 2に基づいた自身の政策立案とその妥当性・4まとめ(全体の分析を通じて分かった事・学んだ事)順序良く計画的にコツコツ積み重ねていく。一番重要なのは卒論を提出する事自体が目的ではなく自身で課題を決めそれらを分析し自身の政策を試行錯誤することを通じてどれだけ学べたか・成長できたかを重視する事。				
予習	自身で卒論を分析・執筆するにあたって疑問に思う事悩んでいる事をメモ等に記載しておく。			2h
復習	その日に学んだ事をその日の内にすぐメモあるいは文書校閲を行い、客観的に自身の作品を振り返る。			2h
12. 本格的な卒業論文執筆				
指定テキスト、参考文献或いは自身で集めたネットからの情報を整理し自身がその中で一番知りたいテーマ、経済事象、課題を決定し分析を行う。文章の書き方についてはその都度指導を行うが基本的には章立てをして(1.序章・2分析手法(実証・理論)・3 2に基づいた自身の政策立案とその妥当性・4まとめ(全体の分析を通じて分かった事・学んだ事)順序良く計画的にコツコツ積み重ねていく。一番重要なのは卒論を提出する事自体が目的ではなく自身で課題を決めそれらを分析し自身の政策を試行錯誤することを通じてどれだけ学べたか・成長できたかを重視する事。				
予習	自身で卒論を分析・執筆するにあたって疑問に思う事悩んでいる事をメモ等に記載しておく。			2h
復習	その日に学んだ事をその日の内にすぐメモあるいは文書校閲を行い、客観的に自身の作品を振り返る。			2h
13. 本格的な卒業論文執筆				
指定テキスト、参考文献或いは自身で集めたネットからの情報を整理し自身がその中で一番知りたいテーマ、経済事象、課題を決定し分析を行う。文章の書き方についてはその都度指導を行うが基本的には章立てをして(1.序章・2分析手法(実証・理論)・3 2に基づいた自身の政策立案とその妥当性・4まとめ(全体の分析を通じて分かった事・学んだ事)順序良く計画的にコツコツ積み重ねていく。一番重要なのは卒論を提出する事自体が目的ではなく自身で課題を決めそれらを分析し自身の政策を試行錯誤することを通じてどれだけ学べたか・成長できたかを重視する事。				
予習	自身で卒論を分析・執筆するにあたって疑問に思う事悩んでいる事をメモ等に記載しておく。			2h
復習	その日に学んだ事をその日の内にすぐメモあるいは文書校閲を行い、客観的に自身の作品を振り返る。			2h
14. 本格的な卒業論文執筆				
指定テキスト、参考文献或いは自身で集めたネットからの情報を整理し自身がその中で一番知りたいテーマ、経済事象、課題を決定し分析を行う。文章の書き方についてはその都度指導を行うが基本的には章立てをして(1.序章・2分析手法(実証・理論)・3 2に基づいた自身の政策立案とその妥当性・4まとめ(全体の分析を通じて分かった事・学んだ事)順序良く計画的にコツコツ積み重ねていく。一番重要なのは卒論を提出する事自体が目的ではなく自身で課題を決めそれらを分析し自身の政策を試行錯誤することを通じてどれだけ学べたか・成長できたかを重視する事。				
予習	自身で卒論を分析・執筆するにあたって疑問に思う事悩んでいる事をメモ等に記載しておく。			2h
復習	その日に学んだ事をその日の内にすぐメモあるいは文書校閲を行い、客観的に自身の作品を振り返る。			2h
15. 本格的な卒業論文執筆				
指定テキスト、参考文献或いは自身で集めたネットからの情報を整理し自身がその中で一番知りたいテーマ、経済事象、課題を決定し分析を行う。文章の書き方についてはその都度指導を行うが基本的には章立てをして(1.序章・2分析手法(実証・理論)・3 2に基づいた自身の政策立案とその妥当性・4まとめ(全体の分析を通じて分かった事・学んだ事)順序良く計画的にコツコツ積み重ねていく。一番重要なのは卒論を提出する事自体が目的ではなく自身で課題を決めそれらを分析し自身の政策を試行錯誤することを通じてどれだけ学べたか・成長できたかを重視する事。				
予習	自身で卒論を分析・執筆するにあたって疑問に思う事悩んでいる事をメモ等に記載しておく。			2h
復習	その日に学んだ事をその日の内にすぐメモあるいは文書校閲を行い、客観的に自身の作品を振り返る。			2h
16. 前期時点での振り返り				
半期の試験対策の進捗状況を全体で振り返り、各自の就活の進み具合と現在抱えている悩み、課題点について話を聞く。全体として或いは個別にて相談を受け、今の時点で何が出来るかを考え今から行える作業を導出する。				
予習	自身で卒論を分析・執筆するにあたって疑問に思う事悩んでいる事をメモ等に記載しておく。			2h
復習	その日に学んだ事をその日の内にすぐメモあるいは文書校閲を行い、客観的に自身の作品を振り返る。			2h

